



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月27日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4348 URL <https://www.infocom.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 TEL 03-6866-3160
 定時株主総会開催予定日 2021年6月15日 配当支払開始予定日 2021年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有 2021年3月期決算補足説明資料
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	68,055	16.6	10,812	31.7	10,936	32.3	6,276	13.2
2020年3月期	58,375	12.8	8,211	19.2	8,268	20.3	5,543	15.9

(注) 包括利益 2021年3月期 7,216百万円 (54.4%) 2020年3月期 4,673百万円 (△12.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	114.61	114.10	16.2	20.9	15.9
2020年3月期	101.32	100.86	16.2	18.0	14.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 8百万円 2020年3月期 △1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	56,435	41,839	73.5	757.76
2020年3月期	48,087	36,159	74.4	653.82

(参考) 自己資本 2021年3月期 41,503百万円 2020年3月期 35,786百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	9,871	△1,643	△1,761	29,956
2020年3月期	7,355	△2,472	△1,546	23,491

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	10.00	—	21.00	31.00	1,697	30.6	5.0
2021年3月期	—	10.00	—	27.00	37.00	2,026	32.3	5.2
2022年3月期(予想)	—	13.00	—	27.00	40.00		30.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	5.4	4,800	△2.5	4,800	△3.0	3,250	△3.8	59.35
通期	77,000	13.1	11,000	1.7	11,000	0.6	7,300	16.3	133.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	57,600,000株	2020年3月期	57,600,000株
2021年3月期	2,829,423株	2020年3月期	2,865,223株
2021年3月期	54,759,562株	2020年3月期	54,714,477株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,783	△9.9	2,198	△19.1	4,222	△11.8	2,579	△32.2
2020年3月期	23,070	4.7	2,716	35.3	4,789	42.5	3,804	45.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	47.10	46.90
2020年3月期	69.54	69.23

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	45,078		25,671		56.4		464.53	
2020年3月期	37,511		23,784		62.9		431.29	

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,442百万円 2020年3月期 23,606百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度と当事業年度の実績値に差異が生じています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法について）

当期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、説明動画と合わせて当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響を受け極めて厳しい状況になり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

IT関連市場は、経済活動停滞による企業等の一時的な設備投資抑制の影響を受ける一方で、コロナ禍における働き方改革や人材不足への対応を背景に、関連するソフトウェア等の需要は回復するものと見られています。

電子書籍市場は、ユーザーのすそ野の広がりに加え、外出自粛に起因する新たな生活スタイルの開始等の影響により、成長基調が継続しています。

このような経営環境において、当社グループは中期経営計画（2020年4月～2023年3月）の基本方針である[成長の追求]と[成長を支える経営基盤の継続強化]のもと、電子コミックとヘルスケアを重点事業として継続成長、サービス化の推進、共創の積極的推進（M&A、海外展開）等の施策に取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は、売上高68,055百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益10,812百万円（同31.7%増）、経常利益10,936百万円（同32.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6,276百万円（同13.2%増）となりました。

なお、韓国における電子コミック事業、及び国内の介護人材紹介事業において、株式取得時に計上したのれん等について、当初の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通し等を踏まえて検討した結果、当連結会計年度において、減損損失1,002百万円を特別損失に計上しています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① ネットビジネス・セグメント

当連結会計年度のネットビジネス・セグメントは、売上高は44,027百万円（前年同期比33.5%増）、営業利益は7,909百万円（同59.7%増）となりました。

電子コミック配信サービスは、「めっちゃコミック」でのデータ分析をベースとした各施策（無料連載・独占先行配信・オリジナルコミック等）が奏功し、更に外出自粛による需要増も加わり、好調に推移しました。当第4四半期に海賊版サイトの影響が顕在化したものの、大幅増収となり、売上高は同サービス開始以来初となる400億円を突破しました。

② ITサービス・セグメント

当連結会計年度のITサービス・セグメントは、売上高は24,027百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は2,892百万円（同11.0%減）となりました。

ヘルスケア事業の病院向けは当第2四半期連結累計期間において、前期特需（改元・消費税増税対応）の反動減とコロナ禍による影響を受けましたが、当連結会計年度末に向けて業績が回復しました。また、企業向けITサービスは営業活動の工夫等により、前年並みの業績となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、減損損失の計上によりおのれの減少があった一方で、現金及び預金の増加及び投資有価証券の時価評価に伴う増加等により、前連結会計年度末と比較して8,348百万円増加し、56,435百万円となりました。負債は、買掛金、未払法人税等及び未払消費税等の増加等により、前連結会計年度末と比較して2,668百万円増加し、14,596百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末と比較して5,679百万円増加し、41,839百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は29,956百万円となり、前連結会計年度末より6,465百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は9,871百万円（前年同期は7,355百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益9,721百万円（同8,040百万円）、非資金項目である減価償却費1,142百万円（同1,023百万円）及び減損損失1,002百万円（同94百万円）等の調整により増加し、法人税等の支払2,370百万円（同2,653百万円）等により減少したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は1,643百万円（前年同期は2,472百万円）となりました。これは主にソフトウェア等無形固定資産の取得による支出767百万円（同691百万円）及び本社移転等に伴う差入保証金の差入による支出478百万円（同90百万円）等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は1,761百万円（前年同期は1,546百万円）となりました。これは主に配当金の支払1,697百万円（同1,477百万円）によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率（%）	72.2	73.8	74.6	74.4	73.5
時価ベースの 自己資本比率（%）	161.4	158.1	230.7	280.8	273.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（年）	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	1,643.9	3,239.6	3,390.9	4,406.2	9,377.1

（注）自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しています。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しています。

(4) 今後の見通し

日本経済は、新型コロナウイルス感染症における拡大防止策の浸透や有効なワクチンの普及により、景気は徐々に回復基調となることが見込まれますが、現状では、収束の見通しが不明であり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予測されます。

IT関連市場は、テレワークの普及等、新生活様式により社会全体のデジタル化が促進され、クラウドサービスの利用拡大やAIのビジネスへの適用拡大、業務プロセスの改善が進むことでIT需要が回復すると予測しています。

電子書籍市場は、海賊版サイトの影響が見られるものの上期に収束すると想定しており、引き続き、スマートフォンを用いた読書習慣の定着化が進み、更なるユーザー層の拡大、5Gの本格的普及により今後も成長が続くと予測しています。

このような環境の中で、当社グループは中期経営計画（2020年4月～2023年3月）の基本方針である[成長の追求]と[成長を支える経営基盤の継続強化]のもと、電子コミックとヘルスケアを重点事業と定め、主要施策を推進します。また、「Activity Based Working（アクティビティ・ベースド・ワーキング）」を取り入れた新たなワークスタイル変革の推進を背景に2022年3月期中の本社移転を予定しています。

これにより、2022年3月期の通期連結業績は、売上高77,000百万円（当年度比13.1%増）、営業利益11,000百万円（同1.7%増）、経常利益11,000百万円（同0.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7,300百万円（同16.3%増）と予想しています。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、健全な財務体質を維持し中長期的な事業拡大に必要な投資を優先するとともに、安定的な配当に加え、業績向上に連動した増配に努め配当性向30%を目指す方針です。

なお、当期の期末配当については、第39回定時株主総会に、1株当たり配当金27円をご提案する予定です。

また、次期の配当については、第2四半期末に1株当たり配当金13円、また期末に1株当たり配当金27円として、1株当たり年間配当金40円を予想しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を適用しています。

将来のIFRS適用に備え、グループ決算体制や社内マニュアル等の整備を進めており、その適用時期についても検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,491	29,956
受取手形及び売掛金	11,459	12,502
たな卸資産	392	167
その他	1,099	1,345
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	36,436	43,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	684	1,023
減価償却累計額	△428	△541
建物及び構築物 (純額)	256	481
機械装置及び運搬具	1	1
減価償却累計額	△1	△1
機械装置及び運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,484	1,548
減価償却累計額	△920	△1,049
工具、器具及び備品 (純額)	564	499
リース資産	382	365
減価償却累計額	△255	△291
リース資産 (純額)	127	73
建設仮勘定	18	0
有形固定資産合計	965	1,054
無形固定資産		
ソフトウェア	1,585	1,592
のれん	1,195	—
その他	36	47
無形固定資産合計	2,818	1,639
投資その他の資産		
投資有価証券	5,964	7,494
関係会社株式	237	242
繰延税金資産	758	686
その他	1,037	1,551
貸倒引当金	△132	△198
投資その他の資産合計	7,867	9,776
固定資産合計	11,651	12,471
資産合計	48,087	56,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,564	4,975
リース債務	59	48
未払金	1,851	1,768
未払法人税等	1,346	2,729
未払消費税等	868	1,189
前受金	759	901
賞与引当金	1,411	1,402
受注損失引当金	69	—
その他	873	1,225
流動負債合計	11,804	14,241
固定負債		
リース債務	81	32
退職給付に係る負債	8	16
繰延税金負債	—	235
その他	32	70
固定負債合計	123	355
負債合計	11,927	14,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,456	1,556
利益剰余金	32,900	37,479
自己株式	△805	△795
株主資本合計	35,140	39,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	740	1,827
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△94	△153
その他の包括利益累計額合計	646	1,673
新株予約権	177	228
非支配株主持分	194	107
純資産合計	36,159	41,839
負債純資産合計	48,087	56,435

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	58,375	68,055
売上原価	30,103	34,347
売上総利益	28,271	33,708
販売費及び一般管理費	20,060	22,896
営業利益	8,211	10,812
営業外収益		
受取利息及び配当金	79	102
持分法による投資利益	—	8
その他	3	18
営業外収益合計	83	130
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	3	1
持分法による投資損失	1	—
パートナーシップ損失	20	3
その他	0	0
営業外費用合計	26	5
経常利益	8,268	10,936
特別利益		
投資有価証券売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
減損損失	94	1,002
固定資産除却損	8	14
関係会社株式評価損	21	—
投資有価証券評価損	40	23
貸倒引当金繰入額	63	172
その他	3	3
特別損失合計	230	1,215
税金等調整前当期純利益	8,040	9,721
法人税、住民税及び事業税	2,522	3,705
法人税等調整額	△5	△171
法人税等合計	2,516	3,533
当期純利益	5,523	6,188
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△20	△88
親会社株主に帰属する当期純利益	5,543	6,276

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,523	6,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△808	1,086
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△40	△58
その他の包括利益合計	△850	1,028
包括利益	4,673	7,216
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,696	7,303
非支配株主に係る包括利益	△23	△87

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,590	1,447	28,833	△816	31,054
当期変動額					
剰余金の配当			△1,477		△1,477
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,543		5,543
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		9		10	20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	9	4,066	10	4,086
当期末残高	1,590	1,456	32,900	△805	35,140

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,549	1	△58	1,492	157	2	32,707
当期変動額							
剰余金の配当							△1,477
親会社株主に帰属する 当期純利益							5,543
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△808	△1	△36	△846	20	191	△634
当期変動額合計	△808	△1	△36	△846	20	191	3,451
当期末残高	740	0	△94	646	177	194	36,159

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,590	1,456	32,900	△805	35,140
当期変動額					
剰余金の配当			△1,697		△1,697
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,276		6,276
譲渡制限付株式報酬		99		10	109
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	99	4,578	10	4,688
当期末残高	1,590	1,556	37,479	△795	39,829

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	740	0	△94	646	177	194	36,159
当期変動額							
剰余金の配当							△1,697
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,276
譲渡制限付株式報酬							109
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	1,086	△0	△58	1,027	50	△86	991
当期変動額合計	1,086	△0	△58	1,027	50	△86	5,679
当期末残高	1,827	－	△153	1,673	228	107	41,839

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,040	9,721
減価償却費	1,023	1,142
減損損失	94	1,002
株式報酬費用	40	77
のれん償却額	157	210
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62	172
賞与引当金の増減額 (△は減少)	184	△8
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△88	△69
受取利息及び受取配当金	△79	△102
関係会社株式評価損	21	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	40	23
売上債権の増減額 (△は増加)	△834	△1,045
たな卸資産の増減額 (△は増加)	165	224
その他の資産の増減額 (△は増加)	79	△197
仕入債務の増減額 (△は減少)	406	413
その他の負債の増減額 (△は減少)	617	572
小計	9,931	12,137
利息及び配当金の受取額	79	105
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△2,653	△2,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,355	9,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△349	△244
無形固定資産の取得による支出	△691	△767
投資有価証券の取得による支出	△275	△178
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,092	—
差入保証金の差入による支出	△90	△478
差入保証金の回収による収入	7	2
その他	19	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,472	△1,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△62	△54
配当金の支払額	△1,477	△1,697
その他	△7	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,546	△1,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,313	6,465
現金及び現金同等物の期首残高	20,177	23,491
現金及び現金同等物の期末残高	23,491	29,956

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ネットビジネス・セグメント」及び「ITサービス・セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

「ネットビジネス・セグメント」は、消費者に対して、スマートフォンや携帯電話向けの電子コミック配信サービス等を展開しています。

「ITサービス・セグメント」は、企業、医薬・医療機関、介護事業者や公共、教育研究機関等に対して、情報システムの企画・開発・運用・管理等のITサービスを提供しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	ネットビジネス	ITサービス	計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
売上高					
外部顧客に対する売上高	32,983	25,391	58,375	—	58,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	101	102	△102	—
計	32,983	25,493	58,477	△102	58,375
セグメント利益	4,951	3,250	8,201	9	8,211
セグメント資産	19,456	17,386	36,843	11,244	48,087
その他の項目					
減価償却費	65	958	1,023	—	1,023
のれん償却額	80	76	157	—	157
持分法投資利益又は損失	△1	—	△1	—	△1
持分法適用会社への投資額	184	—	184	—	184
減損損失	—	94	94	—	94
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	226	843	1,069	—	1,069

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

① セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

② セグメント資産の調整額11,244百万円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去等8,886百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産20,130百万円が含まれています。全社資産は、主に当社での現金及び現金同等物、管理部門に係る資産等です。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	ネットビジネス	ITサービス	計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
売上高					
外部顧客に対する売上高	44,027	24,027	68,055	—	68,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	182	182	△182	—
計	44,028	24,209	68,238	△182	68,055
セグメント利益	7,909	2,892	10,802	9	10,812
セグメント資産	25,571	18,383	43,954	12,480	56,435
その他の項目					
減価償却費	191	950	1,142	—	1,142
のれん償却額	108	101	210	—	210
持分法投資利益又は損失	8	—	8	—	8
持分法適用会社への投資額	189	—	189	—	189
減損損失	358	643	1,002	—	1,002
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	265	642	908	—	908

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

- ① セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。
 - ② セグメント資産の調整額12,480百万円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去等14,617百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産27,098百万円が含まれています。全社資産は、主に当社での現金及び現金同等物、管理部門に係る資産等です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	653.82円	757.76円
1株当たり当期純利益	101.32円	114.61円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	100.86円	114.10円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,543	6,276
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,543	6,276
普通株式の期中平均株式数(株)	54,714,477	54,759,562
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	245,931	243,554
(うち新株予約権(株))	(245,931)	(243,554)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	36,159	41,839
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	372	336
(うち新株予約権(百万円))	(177)	(228)
(うち非支配株主持分(百万円))	(194)	(107)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	35,786	41,503
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	54,734,777	54,770,577

(重要な後発事象)

該当事項はありません。